



「真の慰め」

Ⅱコリント一章1～10節

牧師 安藤 脩

現代ほど慰めの必要な時代はありません。パウロが「恵みと平和が、あなたがたにあるように。」(…2)と祈った二千年前より、現代は更に、慰めの必要な時代になっています。人々の心にストレスが満ちています。大人だけでなく、子どもまで追い立てられ、苛立ち、すぐに切れて、暴力、犯罪に走ります。恵みと平和(平安)の欠乏した時代だからです。

恵みとは、人間に対する神の哀れみ、慰めであります。人がこれを神に恵みとして求めるのです。しかし、自信過剰になつてゐる人は、自分を哀れな存在と思わないし、神に恵みを求めようと思いません。それが現代です。

それにもかかわらず、イエス・キリストによって示された神の心は、慈愛です。そのような慰めを豊かに下さる神を、ほ

2012年夏号

日本キリスト教団  
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区

岡村 4-25-39

TEL.045(751)3917

牧師

安藤 脩

めたたえずにはおれないと、パウロは言っています。(…3)

苦難に際して慰めてくださる神の恵みを体験した人は、苦難の中にある人々を慰め得る人となります。「神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。」(…4)

日本で始めての福祉施設・悲田院や施薬院、療病院を作った光明皇后(聖武天皇の後)は、一般には、仏教を篤く信奉して慈善を行ったとあります。しかしそうではありません。当時の仏教は、国家安泰、鎮護の仏教でありました。本来仏教にはこのような慈悲の考え方や実践はありません。悟りを得て最高の知性を得ることを目的とし、かえって慈悲の行いは軽視されました。実際「皇后が温室を建てたのはいい、しかし垢を流したり、膿を吸ったりすることは、余計な事である。そ

んなことをしなくても、誠さえあれば、何時でも何所でも、仏を拝めるはずである。皇后の慈悲行為は常識を失つたものである。」と南禅寺の僧侶・虎関師錬は元享積書に、慈善の行為を仏教的ではないと批判しています。

光明皇后のこのような慈善は、景教(東回りのキリスト教)の宣教師・李密医の影響がありました。奈良時代にはシルクロードを通じて、多くの景教徒たちが日本に移住していました。光明皇后の子が病気になった時、医師に優れた李密医は呼ばれ、治療に当たつたのです。その時、聖書にある癒しの箇所を読み「メシヤが彼を癒してくださいる事を信じるか？」と問われた光明皇后は、「後の立場上、公には出来ませんが、信じます。」と告白し、共に祈り、癒された体験があつたのです。

「キリストの苦しみが満ち溢れてわたしたちに及んでいるのと同じように、わたしたちの受ける慰めもキリストによって満ち溢れています。」(…5)

このキリストによる真の慰めこそ、現代に最も必要なものです。

(イブニング・チャペル・オープニング説教)

証し

## 受洗に至るまで

小田 正子

二〇一二年四月八日。イースタの晴れやかな日に皆様の祝福のもと、安藤牧師先生によって洗礼を受けました。今まで色々な教会に通ってはいいましたが、重荷を背負った時は通い、軽くなると足が遠退いたり、行ったり行かなかったりでした。(苦しい時の神頼み)こんな状態でしたので、今まで受洗には至りませんでした。

昨年十一月末に友人に横浜岡村教会のバザーに誘われて門をくぐりました。この友人が早園さんの友人でした。友達の友達は皆友達？何気なく会堂に入った瞬間、陽の光がさし込んだような、明るい雰囲気思わず今まで遠退いていた足が「教会に行きたい」と言う衝動にかられ、次の日曜日から礼拝に出席させて頂くようになりました。

それと言うのも私は、六年前に主人を亡くし、子供達も家を出て、各々それぞれの生活に追われ、家にもどる回数も少なく、気が付くと私は、引きこもりの孤

独な生活でした。そんな時、目についたのが聖書でした。これではいけないと思いはじめていました。

「求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。だれでも求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。」

(マタイ七：7)

このみ言葉に導かれ、四ヶ月という短期間でしたが、私は、安藤牧師先生のご指導のもと洗礼を受ける心得の学びと聖書の勉強を致しました。学びを進める中で、更に神様と共に歩みたいとの気持ち固まり、洗礼を受ける決心がつかしました。それは以前からの神様のお考えの中にあつたご計画であつたと、わかりました。昔を振り返る中で、それは、これ迄犯してきた罪が神様によって赦され、新しい永遠の命が与えられると言う素晴らしいものでした。主人が亡くなり、私の傲慢さから子供達にも相手にされない孤独感も辛かったですが、でもそれらを通して、「頼るのは神様しかない」と確信できたのです。



昔、伯父が広島島の呉にある平安教会で、牧師をしていました。小・中・高校時代春休みや夏休みを利用して教会に遊びに行き、行事のお手伝い(イースタの卵に色づけしたり)や愛餐式の手伝いをしたり、また従姉の姉が聖書の話や神様の話を聞かせてくれたことが、いつしか心の奥に沈殿してたのではないかと思います。私の家族や嫁ぎ先は皆仏教徒でしたが、私が教会に行く事に対しては、主人を始め誰も反対する者が居なかったのです。私が洗礼を受けるにあたり両親を始め兄達や妹が認めてくれたことは大きな喜びでもありました。私の年齢を暴露しますのが六五歳になります。その間、主は洗礼を受ける日を忍耐強く、私を待ち続けて下さいました。感謝です。



### 私の出会ったみことば

(六月三日 信徒講座での証し)



### 私の信仰体験

牧野 文子

「主は近し、何事も思いわずらうな、ただ事ごとに祈りを為し 願いを為し 感謝して 汝らの求めを神に告げよ」  
フィリピ 四：5～6

母は、私が三歳前に神様の救いを受けました。母が救いを受けるまでの求道生活は、礼拝に出席し、夜の集会には私を背負い教会に通うことでした。熱心に牧師の話の聴いて、感動のあまり涙を流し、その涙が抱かれていた私に落ちてきました。

母は婿養子を迎えたのですが、父は姑との仲が悪くて、毎日深酒をし、人力車に乗って帰ってくる事が多くなり、祖母はその事を近所に言いふらす等で、母は板挟みになり苦勞していました。母が救われ洗礼を受けた日の私の記憶は、三歳になった私にまざまざと残っております。

荒川の清い流れの中で牧師から全浸礼を受けました。私は、この有様を遠くから見ていました。急流に流されない様に二人の介添え人がいました。その光景を見て洗礼は嫌だと思っていました。しかし、時が変わり、通っていた教会がずっと離れた所に会堂を建てることになり、通えなくなりました。その時、近くの家の方が、屋敷を購入して教会を開く事が決まりました。私は家から一～二分のその教会に、毎週友達も誘い通いました。純真な子供の心にも、本当に神様が働いてくださいました。母が、神様第一の生活をさせて頂いたので、私も自然に母にならって、恵まれた、神様第一の信仰生活を送っています。



### 私が教会に

### 行ったとき

内出 キミ子

昭和十八年に洋裁の勉強のために横浜に来ました。当時は、太平洋戦争が激しくなった時で、私は急遽田舎に帰りました。終戦になってから、どうしても洋裁

がしたくて、昭和二五年に横浜に移りました。働いていたとき、友人に連れられ「根岸橋教会」に行きました。教会は考えていたのとあまりにも違い、畳部屋に長椅子でした。何も解らずに祈祷会・讃美・牧師の説教があり、一人ずつ祈ってアーメンといっているのが不思議でした。でも礼拝の雰囲気で「ここには、何かが有る」と感じました。その後も礼拝・集會に足を運んでいました。その頃ラング先生が月に一回位の間隔で礼拝で説教をされておられました。外人が日本語で話し聖書を読んできました。とても興味がわき、とても楽しみになりました。丁度そんな時に、集會でラング先生が私の肩をたたいて「神様は愛ですよ！」「あなたを愛していますよ！」と言われた時、神様が私に入って来たと感じました。それからその年のクリスマスに洗礼を受けました。神様は困った時、嬉しい時、いつも私の願い、思いを聞いて下さいます。今年で、救われて六十年になります。色々なことが有りましたが、ここまで守られ感謝しています。





五月二〇日  
イブニング  
チャペル(夕拝)  
が始まりました!

## イブニング・チャペルに参加して

礼拝部 関原 紀子

新会堂になって、はじめてのイブニング・チャペルが、五月二十日よりはじまりました。平野兄のギター、安藤姉のキーボードにより、リズム感あふれる讃美歌を、声高らかに讃美しました。

Ⅱコリント一:3~10から「真の慰め」と題して、安藤牧師よりメッセージをいただきました。朝礼拝に出席出来ない方、又他教会の姉妹も参加下さり、良き時がもてましたこと感謝です。

長欠の方の信仰回復、近隣の方への伝道、若い人達の参加を、心より祈ります。メッセージで語られましたように、この場所が出席者の真の慰め、心の癒しの場となりますように願います。

「神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。」(Ⅱコリント一:4)

礼拝後、お忙しい中を安藤姉が、おつきり下さったカラーをいただき、帰路につきました。



## イブニング・チャペル

### スタートに当たって

わかえだ会 平野 耕太郎

横浜岡村教会では以前から、午前中の礼拝だけでなく、夕方のイブニング・チャペルを行うことは出来ないかと検討してきました。しかし、ここ最近になって特にその必要性が高まってきたのです。それは、お仕事や病気など何らかの生活習慣上の理由から、午前中の礼拝参加が難しい方が出てきたという事でした。そこで、この横浜岡村教会でも五月二〇日

より、夕方五時からイブニング・チャペルを行う事となりました。私自身はそこで賛美担当として携わる事となり、当面は毎月第三・四・五日曜日のイブニング・チャペルにて賛美リードを務めます。正直な話ではありませんが、毎朝九時からのJunior Churchの礼拝に始まり、十九時までのイブニング・チャペルに終わるのは、とても大変です。十時三〇分前に教会に来て、礼拝が終わる十二時には帰る信徒さん達が羨ましいと思う事もあるのですが、でも、私自身にとっても、このイブニング・チャペルが若い人の集う場所となつて欲しいという願いを抱いていますので、それが実りに繋がるように祈りながら奉仕してゆきたいと思っています。そして、安藤牧師や善枝姉、そして役員さんを中心とした多くの教会員の皆さんが、私以上に長い時間、教会で働かれていますという事を、どうかイブニング・チャペルに参加しない皆さんにも、覚え、理解して、祈って頂きたいのです。

さて、初日の礼拝では、これまで準備・検討を進めてきて下さった役員の方々と牧師ご夫妻が中心になって行いましたが、その中に最近礼拝に来る事の出来なかつた方もおいでになって、とても良か

つたと感じています。わかえだ会会長の私としては、ぜひお仕事で午前中に来られなかった方にこちらに来て、靈的に健康となり、礼拝に定着してもらいたいとただ願うばかりです。こうして原稿を作成している間にも、礼拝に来て欲しいと願う方の顔が浮かびます。一方、賛美リードの奉仕については、至らない点が沢山ありました。さらに練習をして、次の賛美奉仕に備えたいと思います。

**NPPO若人レインボータレント会  
地域活動支援センター横浜ろばの店  
『カラフル』開店**

横浜ろばの店所長 坂本 浩

横浜ろばの店のオリジナル商品を販売するための店舗『カラフル』が、五月二一日(月)磯子区久木町の浜マーケット出入り口にある三階建てマンション一階にオープンしました。

ろばの店も六年目となりますが、いつかは近くに店舗を開設したいと願っていました。しかし、資金面や諸事情などにより、なかなか歩み出せない状態でしたが、主の導きにより、これを成すため従い行く事となったのです。多額の開業資

金も横浜岡村教会から融通していただき心より感謝申し上げます。

更に感謝な事に、以前は和菓子屋が入っていたということで、菓子製造の営業許可に必要なレンジフードや間仕切り、トイレなどが残されており、許可申請をスムーズに行なう事ができ、出費も抑える事ができました。これによって『カラフル』は店舗兼菓子製造作業所としての機能を持つこととなりました。

当初は、今まで行なってきたクッキーと手芸品の製造販売が中心となります。今は利用者・スタッフ共に手探り状態ですが、ろばのように着実に一步一步前進しながら、店舗名の如く、真っ白なキャンバスに、色取り取りの絵が画けたらと考えていますので、ご支援ご協力宜しくお願いいたします。



五月二七日ペンテコステ礼拝

J.C

ペンテコステ・パズル  
をしました

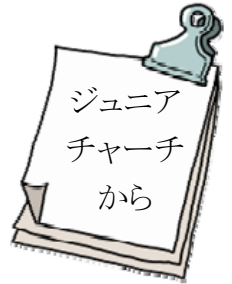


パズルが出来上がりました！！



ここかな？





## 母の日礼拝に参加して

田原 夕実

今年も母の日礼拝に参加することが出来て、感謝しています。毎年母の日に子供達から、手作りカードをいただき、「お母さんいつもありがとうございます」と感謝の言葉をもらうたびに、自分自身が子供にちゃんとしてあげられているか振り返えさせられる思いでいます。子供達も学校の勉強やお稽古など忙しい中、一つ一つ頑張っていて、親の私も成長についていくのが、やっとの状態になる事もしばしばあります。今年娘も小学四年生になり、あと数年すれば、親の手を離れ、小言も聞いてもらえなくなると思います。来年、再来年とずっと母の日礼拝で、カードにいつもありがとうございます。と書いてもらえる様に、そして私も子供にいつもありがとうと感謝の気持ちを持つる様に、お祈りします。

善枝先生、ジュニアチャーチのスタッフの皆様、いつもお世話になりありがとうございます。感謝いたします。

## 母の日礼拝に参加して

大柳 美香

娘が小学校一年生の時ジュニアチャーチに初めてお世話になってから、今年で三回目の母の日礼拝を迎える事ができました。私はこの日の礼拝に出席させて頂いて、ある女性のお母さんに対する強い愛情が、沢山の人達を動かし、今では世界中の人々が母の日としてお祝いする記念日になったというお話を初めて知り感動しました。ジュニアチャーチでは、普段私ができないイエス様のお話や、母の日のエピソードの様な感動的なお話をして下さるので、本当にありがたいことだと思っています。

小さな頃から聞く、このようなお話の一つ一つが娘の心に種をまき、きれいな花に育っていくのだと信じています。娘がジュニアチャーチに通う楽しみのもう一つは、学校の友達と会える事です。私立の学校に通っていると住む地域が色々なので、普段は全く遊ぶ事ができません。週一回お友達と一緒に学ば

遊ぶ事が、娘にとつてとても貴重な時間のようです。岡村教会は安藤牧師先生ご夫婦やスタッフの方々のお人柄で、とても暖かい家庭的な教会で、縁があつた事を嬉しく思っていますし、皆さまに心から感謝しています。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

## 教会での娘

渡辺 和香

二年前の春、キリスト教教育の幼稚園に入園して初めて、神様に守られているという事を意識しました。礼拝やお祈りも初めてで、きちんとできるかな？という親の思いから、年少で三歳の夏休みに初めて横浜岡村教会のジュニアチャーチを訪れました。「来週も行きたい！」という言葉を聞くにはしばらく時間がかかりましたが、一人っ子の娘は小学生のお姉さんとのふれあいや、いろいろなイベントを楽しみにするようになりました。そして、四歳になって間もないクリスマスイブにページェントにも参加させて頂きました。まずは台詞のない羊の役。出番までの間、緊張のせいかな、当時六年生だった上級生のお姉さんに何度もトイレ



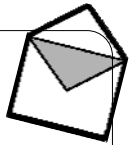
おかあさん  
ありがとう!!



お母さんへのプレゼント・カードとクッキー

に連れて行って頂きながら、他の未就学児と共に何とか役を果たしました。そして翌年の五歳のページェントでは未就学児一人の中で、ほんの少しの台詞も覚えて天使の役をこなしました。

私はいつもハラハラドキドキ。でもそんな親の心配はよそに、子供はいつのまにか成長しているものです。我が子ながらも彼女の度胸にはびっくりさせられることも多々あります。来春には小学生になりますが、ジュニアチャーチのお力を借りながら、神様に守られて安心した日々を送れることと、娘が元気に、更に成長できることを祈りたいと思います。



お便りのページ

「岡村の泉」の感想文が届きました

日本キリスト改革派 上福岡教会

牧師夫人 熊田 なみ子

尊い主の御名を心から賛美致します。いつも「岡村の泉」をお送り頂き、感謝です。春号では、一つ一つのページに、主の素晴らしい恵みが記され、励まされました。私は、安藤善枝さんと神学校時代同級生でした。又私たちの教会には、清水ヶ丘教会から移られた小尾健兄・恵子姉ご一家がいらつしやいますので、横浜岡村教会の事はとても親しく思えます。これからも、喜びに溢れて、与えられた場で、主と隣人に仕え励んで行きましょう。私は、メディア伝道にも召され三七年の恵みの日々を主から頂いて来ましたが是非、HP「ふくいんのなみ」でお耳にかかれば嬉しいです。主の祝福がこれからも豊かにありますように。

日本同盟教団・櫛形キリスト教会

教会員 功刀 仁

安藤牧師夫妻と親しくさせて頂いているなかで、季節折り折りに送って頂く岡村教会の季刊紙を拝見し、先生方のご苦労や教会、教会員の動向を垣間見るよい

機会となつています。と同時に、同じような喜び、悩みや問題があることをおぼえ、親しみを感じています。毎回どなたかの「証し」が掲載されていることは、信仰者として、信仰をもった当時の自分と比較しつつ、励まされます。また、召天者の方についての教会員の思い出は、信仰の先輩が歩んだ道を証す記録であり、教会の宝です。教会の各会も、その活動の元気が伝わってきて良いと思います。

櫛形キリスト教会では、毎月の役員会および前月の会計報告を教会員に周知することを主体として、月報の形を取っています。これに、CS(サムエル会)の報告や、機会があれば受洗者の証等を掲載しています。別刷りの月間予定は各週の礼拝、CSなどの奉仕者名を併記した、カレンダー形式の予定表を月末に配布し、各自の礼拝への備えとして利用してもらっています。教会員数が少なく、月報への原稿依頼に困難さを憶えます。季刊紙ではないので、記事もまとまっては載せることはありません。月報、月間予定表の編集は総務担当役員として自分が責任を任されていますので、おかむらの泉」を参考にさせて頂き内容を豊かにさせて頂きたいと思わされました。



6～8月行事予定

6月

- 9日 春のランチオン(大和田広美姉)
- 10日 JC花の日礼拝
- 17日 JC父の日招待礼拝
- 19日 田崎宅家庭集会
- 21日 三教会統一祈祷課題祈祷会
- 毎週日曜日 信徒講座
- 毎週金曜日(8日)ラング記念聖書学校

7月

- 7～8日 第31回岡村アシュラム  
(証し者・小杉義信兄)
- 16日 三教会合同修養会(横浜菊名)  
講師・石井錦一師
- 17日 田崎宅家庭集会
- 22日 三教会交流講壇交換(島田師)
- 27日 藤山宅祈祷会

8月

- 3～5日 JC 夏季キャンプ(教会)
- 14日 田崎宅家庭集会
- 19日 創立記念礼拝(証・大野勝順兄)
- 20～23日 安藤師夏季休暇
- 27～29日 こころの友伝道全国大会  
(名古屋・邦和セミナープラザ)
- 31日 藤山宅祈祷会  
(毎月第1主日 聖餐式、役員会)  
(毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓  
(ジュニアチャーチ)

「希望に燃えて」

藤山 クニエ

二〇一二年がスタートし、新しいお友達が何人おいでになるか、楽しみにしております。

燃えて英和小学校に入学された方が、この四月に四名も来て下さいました。少し緊張気味にしましたが、しかし次の週には、お友達がいることに安心し、にこやかに来る事が出来ました。イエス様が私たちの罪を取り除くために、天からこの地上に来て下さった事。十字架に架かれて死に、黄泉に降つて、三日目に甦られ、今も信じる一人一人と共にいて下さる事。どんな困難な中に居る人も、主に信頼して祈る時、必ずこた

えてくださる事。生きて働かれる唯一の神、この神を一生信じ続け、人々に伝える事ほど、崇高な生き方はないと思ふ。幼い時から祈る事の出来る人になつてもらいたいと思ひます。神様に喜ばれる道を歩み続けて参りましょう。一緒に。一歩一歩。ハレルヤ!



●JCC夏季キャンプのご案内

日・八月三日(金)～五日(日)

テーマ「あたらしい命」

場所・横浜岡村教会

八月四日(土)はカレブ会のバーベキューと合流します。その後、腹話術、手品大会! ! たくさんの方々参加下さい。

集案案内

●第三十一回 岡村アシュラム

七月七日(土)～八日(日)

証し者 小杉義信兄

●教会創立六十三周年記念礼拝

八月十九日(日)

証し者 大野勝順兄

ぜひ おいで下さい!



編集後記

六月に入り、アジサイの美しい季節になりました。この夏号にもたくさんのお証しが寄せられて、本当に感謝です。五月からイブニング・チャペルが始まりました。神様の豊かな祝福を頂きたいと思つていきます。暑い夏がやってきますが、皆様の健康が守られますように。

(Y・A)